

ヴィラ城陽だより

個人情報保護法に基づき、本誌に掲載しております写真等につきましては、入居者等に掲載についての了解を得ております。

発行所：社会福祉法人京都悠仁福祉会 軽費老人ホーム ヴィラ城陽 城陽市市辺笹原1番5 ☎0774(55)1875
URL http://www.takedahp.or.jp/group/welfare/villa_j/ e-mail hp-jyoyo@takedahp.or.jp

ヴィラ城陽の施設の紹介や行事などの情報を動画やWebで紹介しています。右記のQRコードから読み取りご覧ください。



栄養科通信



3月3日に、ひな祭り御膳を提供しました。今年、鮪・鰯・鮭の3種の刺身をのせた海鮮散し寿司にしました。(お刺身は冬季限定で提供させていただきます。)
茶碗蒸しの具の中にうどんを入れた小田巻蒸し、白和え、抹茶プリンを添えています。「美味しかったよ!」、お品書きの「おひなさま可愛いね!」とお声をかけていただきました。

家族懇談会開催について

5月12日(日) 10:00~11:00 家族懇談会を開催します。出欠と個別面談をご希望の方は、右横のQRコードを読み取りグーグルフォームか、お電話、LINEにてお申込みください。
【申し込み締切日：4月30日(火)】



収入申告書 提出のお願い

令和6年度の収入申告書を配布いたしました。前年度の収入を申告していただき、令和6年7月からの利用料を算定しますので、期限内に窓口にお持ちいただくか、ご郵送いただきますよう、お願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、下記担当者までお問合せくださいませ。
【提出締め切り：5月17日(金)】 【担当 生活相談員 後藤】



壁画制作



暖かい季節となり、玄関前の壁紙を春仕様にリニューアルしました。折り紙でチューリップを折り、お花紙で蝶々をたくさん作りました。最初は「切り方が難しいな」「上手く開かないな」と苦戦されていましたが、少しずつ慣れてきてご入居者同士で教え合い、たくさんのチューリップと蝶々が完成しました。

それらを壁に貼っていくと壁一面に、チューリップ畑が広がり「いい感じやな」「たくさん出来たね」と、出来栄に満足されていました。

青空体操

春らしい気候となり、天気の良い日は中庭でラジオ体操を行いました。体操が終わった後は、「気持ちがいい天気やね」とほっこりされていました。



4月 行事予定 5月

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 8日(月) とくし丸 移動販売
栗神社 春まつり | 6日(月) とくし丸 移動販売 |
| 11日(木) 施設お花見 お花見喫茶 | 9日(木) 健康診断 |
| 15日(月) とくし丸 移動販売 | 12日(日) 母の日 家族懇談会 |
| 16日(火) バーバー 散髪
お花見ドライブ | 13日(月) とくし丸 移動販売 |
| 17日(水) お花見ドライブ | 13日(月) とくし丸 移動販売 |
| 18日(木) お花見ドライブ | 20日(月) とくし丸 移動販売 |
| 19日(金) お花見ドライブ | 27日(月) とくし丸 移動販売 |
| 22日(月) とくし丸 移動販売 | 31日(金) 新茶会 |
| 25日(木) 山城産業 日用品販売 | |
| 29日(月) とくし丸 移動販売 | |



※予定は変更する場合がございますので、ご了承をお願い致します。

令和6年度 軽費老人ホームヴィラ城陽 事業計画

1. 基本理念

入居者、家族、地域の方々に信頼される施設作りを行うとともに、入居者のニーズを的確に把握し、自身の能力を発揮できる環境を作る。

入居者一人ひとりが生きがいを持って、健康で明るく自立した生活が送れるよう支援するとともに、「思いやりの心」で、いつも「笑い声の聞こえる施設」を目指し、入居者を中心にした施設の運営を行う。

(1) 個人の尊厳を守り、入居者の自主的な意向を十分に尊重する。

(2) 入居者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立支援を行う。

(3) 地域の行事に積極的に参加し、ボランティアの受入や地域との交流を促進する。

老人福祉の理念に基づき、入居者の日常生活に必要なサービスを提供し、入居者が健康で明るい生活が送れる施設作りを行うとともに、自らが日常生活を楽しみ、生きがいを持って暮らせる環境を作る。

【中期計画】(令和6年度から令和8年度)

(1) エレベーターの設置をはじめ、施設修繕工事等を計画的に進め、施設の保全整備を行う。

(2) 入居者の活動能力の維持向上を目指す。

(3) 多職種の連携を強化し、チーム力の向上と人財育成を目指す。

【長期計画】(令和3年度から令和8年度)

(1) 老朽化していく施設の保全整備を行う。

(2) 経営の安定を図るため、待機者確保および経費削減の推進。

(3) DX化の推進を図り効率的な業務の在り方を研究する。

2. 事業種別利用者数値目標

	軽費	訪問介護
年間平均稼働率	100%	常勤換算値×
1日平均入所(利用)者数		4.5人

3. 事業種別事業計画

【軽費老人ホーム】

□ 基本方針

入居者の人格を尊重し、快適で安心、安全な施設生活が送れるよう各種サービスの提供を行うとともに、健康で明るく自立した生活が送れるよう支援する。

□ 重点項目

(1) 人財の確保、育成および定着(働きがいのある職場作り)

ステップアップシートでの面談を活用し、職員個々の目標や求められているものについて理解を深め、働きがいのある場づくりを目指す。

職員研修の充実により、職員の専門性を高め資質向上を図る。

(2) 連携重視(地域・医療・職員間)

地域包括支援センター及び各機関、家族との連携強化に努め、入居者のニーズに沿ったサービスを提供する。

また、SNSを通じて施設の情報を発信し、家族や地域に開かれた施設作りを推進する。

(3) 入居者満足度の向上

今まで感染防止対策の為自粛していた外出行事や入居者同士の交流を積極的に行い、満足度の向上を図る。

(4) 危機管理の徹底(予防対策の充実)

各専門職の知識の向上を図り、適切なケアの提供、新型コロナウイルス感染症等の感染防止に努める。

【訪問介護・訪問介護相当サービス】

□ 基本方針

利用者、家族の意見、意思を尊重し、尊敬と思いやりの心を持って、利用者が安心して利用できる質の高いサービスに努める。また、常に利用者に寄り添い、利用者、家族、各関係機関との連携を密に行いながら、地域に根ざした事業所を目指す。

□ 重点項目

(1) 健全(法令遵守)で安定した事業の展開。

サービス提供責任者の育成を行う。訪問介護員に対して適切に情報の指示や共有が図れ、利用者の状態に合わせたサービスを提供し、安定した事業活動を実施する。

(2) 人財の確保・育成および定着(働きがいのある職場作り)。

キャリアパス(ステップアップシート)の活用と職員の内部、外部研修への参加により、統一したサービス提供と情報共有に努める。適正な業務分担を検討し、有給休暇取得の促進及び超過勤務時間の削減に努める。

(3) 連携重視(地域・医療・職員)。

居宅支援事業所、地域包括支援センターおよび各機関との連携強化に努め、利用者や家族のニーズにあわせたサービスを提供する。

(4) ケアの質と利用者満足度の向上。

利用者に満足度調査を実施し、様々な視点からの苦情や要望の抽出を行い、よりよいサービスの提供に繋げる。個別研修で接遇と対人援助技術を学び、対応力を向上させ、サービスの向上に努める。

(5) 危機管理の徹底。

事故発生環境の改善を図るため、“ほっ”と報告書の活用を更に推進し、事故予防に努め、感染症等の発生に対しては利用者及び職員の命と健康を守る事を最優先に感染予防を徹底する。

4. 職員関連

□ 職員教育および研修

1. 職員教育

新規採用職員については、プリセプターシップの実施により、OJTを通して組織の理念、目標、方針等を理解し、職場生活への早期適応を図るとともに、チームの一員として与えられた役割を自覚し、行動が取れるようにする。

2. 職員研修

内部研修を定期的で開催し、専門技術の向上を図るとともに、外部研修にも積極的に参加し、OFF-JTによる知識習得、資質向上を図る。

□ 職員の健康管理

健康診断(宿直者は年2回)の実施をはじめ、新型コロナワクチンやインフルエンザワクチンの接種を実施すると共に感染症に関する予防対策の周知、情報提供を行う。職員のワーク・ライフ・バランスを実現できるよう超過勤務時間、有休取得率などデータ集約し、労働時間の削減に努める。

5. 固定資産取得関連

□ 建物、設備

大雨等により発生し得る災害に備えて、利用者が円滑で安全に避難ができるようエレベーターの増設整備を検討し京都府と協議を行う。(地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金(高齢者施設等の水害対策強化事業))

また、老朽化してきている利用者居室の点検・改善を行う。

□ 車両運搬具、器具および備品

栄養科空調機器の入れ替えを行う。